

Admission Policy

京都ノートルダム女子大学 入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)

京都ノートルダム女子大学は、学問の街である京都の地に「Virtus et Scientia (徳と知)」を建学の精神に掲げ、「深く専門の学芸を教授研究するとともに、カトリック精神及び日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成して我が国文化の推進に寄与すること」を目的とし高い意識のもと1961年に創立された女子大学です。この目的に基づき、本学を卒業するときに身につけておくべき6つの力を掲げ、学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) を定めています。これらの方針のもと、主体的に学び、研究を深める意欲のある入学者を受け入れるために、次のとおり全学および各学部学科において入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー) を設定しています。

京都ノートルダム女子大学3つの方針

全学共通部分

(学則第1条…「深く専門の学芸を教授研究」「カトリック精神および日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成」)

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受け入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	女性教育・キリスト教精神・	DP1. 自分を育てる力	共通教育科目では、キリスト教精神に基づき、豊かな人間性と良識、さらには他者への奉仕の精神を育てるためのベースとなる「カトリック教育」に関する科目を1・2年次に配置し、必修および選択必修を合わせて6単位以上とする。さらに、自立した女性として生きていく態度を身につけるための「女性」および「健康」に関する選択科目を配置する。	(期待する能力) 本学の建学の理念であるキリスト教精神に触れ、理解しようとする。他者や社会に奉仕する中で自己の人格を高めようとする。 (選考方法) 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、調査書、面接
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	共通教育科目では、幅広い知識と教養を身につけるため「人間と文化」「生活と社会」「人間と自然」の3領域からなる教養科目を配置し、各領域2単位以上を選択必修とする。(さらなる専門的知識とその理解力を養うため、各学部学科の専門領域の概論等に関する科目を配置する。)	(期待する能力) 高等学校における学習内容を基礎として、各専門分野に資する知識と理解の土台がある。 (選考方法) 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート、学力試験、口頭試問、資格検定
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	共通教育科目では、言語コミュニケーションスキルと読み書き能力を育成するため、母語である日本語、英語および他の言語についての科目を継続的に学べるように段階的に配置する。そのうち日本語については、日常の文書作成に必要な読み書きの基礎から研究論文執筆をにらんだアカデミックライティングの科目まで配置する。英語や他の外国語については、1～2年次に週2回授業を行い定着を図る。(さらに、専門性に応じた言語力を育成するため、各学部学科の専門教育科目を配置する。)	(期待する能力) 高等学校卒業程度の国語力をもち、英語などの外国語で読み、書き、聞く、話す意欲がある。 (選考方法) 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問、資格検定、英作文
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	共通教育科目では、思考の礎となる教養を教養科目から身につけるとともに、情報処理については、その考え方の基礎から応用、発展までの科目を配置する。(現代社会のさまざまな課題を解決するための思考力・問題解決力を育成するため、各学部各学科の専門教育科目を配置する。)	(期待する能力) 課題について粘り強く考えようとし、広い視野をもって、自らの考えを柔軟に評価・修正できる。 (選考方法) 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	共通教育科目では、社会の中でさまざまな他者と共生・協働するために必要な力として、キャリア形成に関する科目、他者との関係づくりに必要な「ホスピタリティ」を学ぶ科目、および実際の協働へと結びつける「ボランティア」に関する科目等を配置している。(さらに必要な知識や理論を学べるように、各学部共通科目や各学科の専門教育科目に多くの科目を配置する。)	(期待する能力) 人と協力してともに問題解決をしようとする意欲をもち、集団での活動経験 (部活動、課外活動、ボランティアなど) を活かし、様々な学習に能動的に参加できる。 (選考方法) 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、調査書、面接
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	総合的な学修経験と総合的な思考力	DP6. 創造・発信力	(実践的に他者や社会に対して、自らの学習成果を創造的に発信することができる科目として、各学部学科の専門教育科目卒業研究等の科目を配置する。)	(期待する能力) 自らが学習したことを他者に明確に説明しようとし、さらに学習を通じて新たなアイデアやものを創り出そうとする。 (選考方法) 自己記入書 (志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問